七五三 次第

# 無言三礼

# 奉請（散華）

# 表白

みって、しては○○・△△のにしてさく。わくはをもってしえ。

の○○さん、七（五、三）にし七五三のきをえるにあたり、をしにぬかずく。していわくは、、してはのをしい、○○さんのくにして、しわんことを。

　○年○月○日　○誉○○ってす。

# 転座

# 説示

○○さん、ご家族の皆様、本日は〇歳のお祝い、おめでとうございます。日本では伝統的に子供の成長の段階にあわせて髪型を変えたり着物を変えたりして、子どもの成長を祝ってきました。これが七五三という行事の由来といわれておりますが、今日はお寺での七五三です。お子様の成長の大切な節目にあたり、あらためて本尊阿弥陀様にお子様を見守っていただけますようお願いをする、大切な機会となります。

# 灌頂洒水（＊水瓶での作法です。洒水器でも構いません）

それではまず聖水灌頂を行います。阿弥陀様の前で、この智慧のお水をおつむから注いで、阿弥陀様のやさしい思いやりの心を授かります。それでは前のほうにお願いします。合掌して、おつむを下げてください。

これはこれ聖なる智慧の水なり。今○○さんの頭上にがん。願わくは身体健全にして無事成長せられんことを。

 南無阿弥陀仏 （灌頂洒水）

# 三宝帰依

それでは、○○さん、これから阿弥陀様に見守っていただけますよう、「明るく、正しく、仲よく」という三つのお約束をしていただきます。「明るく」というのは、「ありがとう」と笑顔で言えることです。「正しく」とは、「ごめんなさい」と素直に言えることです。「仲よく」とは、誰にでも優しくできるということです。それではいまからお尋ねしますから、ハイと答えてください。

○○さん、これから明るく、正しく、仲よくできますか。（はい）

ただいま三つのお約束をして頂きましたので、その証として（　　　　　）（　　　　　）をお授けします。では席にお戻りください。

# 同唱十念

それでは、只今より無事健やかな成長を願い十遍の南無阿弥陀仏をお称えいただき、阿弥陀様にご祈願をしたいと思います。

　同唱十念

# 転座

# 開経偈

# 誦経（焼香）般若心経など

# 祈願

　、○○・△△

　しるのは○○（夫の名前）、○○（妻の名前）、しるところは○○（子どもの名前）、

# 普済偈

# 同唱十念

# 摂益文

# 念仏一会

# 請護念偈

# 十念

# 無言一礼

# 挨拶